

＋ 8月の休日当番医 ＋

月日	鏡野町	真庭市
8月2日 (日)	武田医院 (入) ☎0868-54-0552	落合病院 (真庭市垂水) ☎0867-52-1133 金田病院 (真庭市西原) ☎0867-52-1191 中井医院 (真庭市月田) ☎0867-44-4848
8月9日 (日)	武田医院 (入) ☎0868-54-0552	勝山病院 (真庭市本郷) ☎0867-44-3161 さとう医院 (真庭市下皆部) ☎0866-52-9898
8月10日 (月)	三村医院 (香々美) ☎0868-56-0101	金田病院 (真庭市西原) ☎0867-52-1191 まつうら医院 (真庭市久世) ☎0867-42-5686
8月13日 (木)		中山病院 (真庭市久世) ☎0867-42-0371 湯原温泉病院 (真庭市湯本) ☎0867-62-2221
8月14日 (金)		落合病院 (真庭市垂水) ☎0867-52-1133 湯原温泉病院 (真庭市湯本) ☎0867-62-2221
8月15日 (土)		金田病院 (真庭市西原) ☎0867-52-1191 湯原温泉病院 (真庭市湯本) ☎0867-62-2221
8月16日 (日)	鏡野病院 (寺元) ☎0868-54-0011	勝山病院 (真庭市本郷) ☎0867-44-3161 さくもとクリニック (真庭市上水田) ☎0866-52-4833
8月23日 (日)	山田医院 (寺元) ☎0868-54-0019 富診療所 (富西谷) ☎0867-57-2009	湯原温泉病院 (真庭市湯本) ☎0867-62-2221 みんなのクリニック (真庭市惣) ☎0867-45-0379
8月30日 (日)	芳野病院 (吉原) ☎0868-54-0312	近藤病院 (真庭市勝山) ☎0867-44-2671 吉弘クリニック (真庭市山田) ☎0866-52-2704

- 診察時間 午前9時～午後5時
- 急患のみが対象。原則として往診は出来ません。
- 当番医が変更することがありますので、事前に電話等で確認してください。

戸籍の窓口



出生 おめでとうございます

(6月届出分・敬称略)

氏名	保護者	住所
安齋 碧夏	由希菜	薪森原
浅山 晟寿	世莉	原
脇山 健琉	龍太	竹田
宗森 叶龍	健行	竹田
浦山 晴生	敬太	下原
岡田 侑季	淳治	古川
杉本 龍優	力也	円宗寺

結婚 末長くおしあわせに

(6月届出分・敬称略)



氏名	住所
岸本 一馬	津山市
樋口 玲夢	竹田
石坂 直也	真庭市
岩佐 真里香	円宗寺

死亡 おくやみ申し上げます

(6月届出分・敬称略)

氏名	年齢	住所
川端 正之	82歳	吉原
山元 テルコ	98歳	土居
牧野 勲	92歳	中谷



納税ごよみ 8月

- 住民税(普徴) 第2期
- 国民健康保険税 第2期
- 介護保険料(普徴) 第3期
- 介護保険料(特徴) 第3期
- 後期高齢者医療保険料(普徴) 第2期
- 後期高齢者医療保険料(特徴) 第3期

※納期限は8月31日

6月の火災・救急・交通事故件数

- 火災… 3件(7件)
- 救急… 43件(326件)
- 人身事故… 0件(1件)
- 物損事故… 15件(109件)

【()内は1月1日からの累計】
火災発生時のお問い合わせ
電話(0868)23-9999
救急病院などのお問い合わせ
電話(0868)23-9910

人口の動き(6月末現在)

- 人口 12,812人(1)
 - 男 6,190人(2)
 - 女 6,622人(-1)
 - 世帯数 5,703戸(8)
 - 転入 20人 ●転出 14人
 - 出生 9人 ●死亡 14人
- 【()内は前月比】 ※外国人を含む

地域おこし協力隊 活動記録

Arriving amidst the pandemic, forging ahead with intended activities has been a challenge.

With so many events and functions canceled this year, staying flexible to immediate needs has been the modus operandi.

An unexpected but welcome return to teaching English - in this case, to our staff here - with the goal of improving their communication skills in the tourism context, while keeping things upbeat and fun.

新型コロナウイルス感染症拡大の最中に来町し、想定していた活動を行うことはとても困難でした。また多くのイベントや事業が中止されている状況下では柔軟な発想で仕事に対応する必要がありました。

活動の一つとして、当初は考えていませんでしたが再び英語を教えることになりました。週1回、観光関係のスタッフに実践英語を教えており、観光の分野においてコミュニケーション能力を高めるといった共通の目標を持ち、皆で和気あいあいと学んでいます。

地域おこし協力隊 ロビン・ワトソン

